

1,000 kmを超えた友情と絆 ～オンラインをフル活用した日本の未来の教育のカタチ～



両校3年生同士の節分ビンゴ大会



両校1年生同士の「くまモン体操」の交流

日本で2校しかない、同じ校名の東京都日野市立潤徳小学校と熊本県上益城郡山都町立潤徳小学校。令和5年度、日野市立潤徳小学校は開校150周年を迎え、同じ年に山都町立潤徳小学校は閉校となる。この「奇跡・偶然・運命」に導かれ、令和4年11月から始まった、「東西潤徳小学校コラボレーション」、令和5年度に残された1年間限定の交流を通じて一層深まる友情と避けることのできない別れ…。遠く離れていても強く結ばれた2校の絆は、どのようなドラマチックな変化を見せるのか。そこには、我が国が進めるGIGAスクール構想の最先端の姿と過疎化・少子高齢化が進む中での将来の教育の在り方が透けて見える…。

○本企画のアピールポイント

<日本の小学校で唯一と考えられる内容>

- 1 同一の校名の小学校同士が「Google Meet」等を使い、日常的にオンラインで交流
- 2 「Google Sites」を活用した2校の交流専用ページの開発による教職員の打合せ
- 3 「開校150周年」と「閉校」という両校の大きな節目を背景とした交流
- 4 両校校長の相手校への訪問と、自校へのオンライン生中継の実施

<日本の小学校でほとんど前例がないと考えられる内容>

- 1 児童数700名を超える大きな規模の、東京の住宅街の中にある小学校と、児童数22名の小規模の、標高500m近い山あいの熊本の小学校という全く違った環境の児童同士の日常的な交流
- 2 特徴的な地域からのオンライン生中継の実施【例：社会科見学時の国会議事堂、東京スカイツリー、お台場等からの生中継（東京→熊本）、日光移動教室での東照宮からの生中継（東京→熊本）、通潤橋の放水時、長崎修学旅行の生中継（熊本→東京）等】
- 3 一人一台の学習者用端末を活用した、道徳等の共同授業の実践による児童同士の多様な意見交換
- 4 オンライン共同授業、交流の実践による教員の共同研究の実施
- 5 「日本の教育を変える！」という強い信念をもつ、両校校長のリーダーシップ

○今後の交流計画（実施予定を含む）

- ・共同全校朝会及び児童集会の実施
- ・各学年同士の交流イベント、共同授業の実施
- ・休み時間のオンライン遊びの実施
- ・行事交流の実施（運動会、学芸会、「くまモン」登場イベント等）
- ・両校共同あいさつ運動の実施
- ・両校教員の参加による共同研究授業の実施
- ・校外学習先からの生中継、事後学習の発表【例：多摩動物公園からの動物紹介、高尾山頂からの生中継、長崎原爆の研究紹介、水俣病の被害のプレゼンテーション等】
- ・熊本地震、熊本豪雨の実体験紹介
- ・日野市立潤徳小学校開校150周年記念式典（R5.12.2）、山都町立潤徳小学校閉校式（R6.2月末予定）への両校校長の参加等

